

令和 7 年

議会運営委員会会議録

と き 令和 7 年 4 月 2 5 日

品 川 区 議 会

令和7年 品川区議会議会運営委員会

日 時 令和7年4月25日（金） 午後1時00分～午後1時42分

場 所 品川区議会 議会棟5階 第4委員会室

出席委員	委員長	まつざわ 和 昌	副委員長	若 林 ひ ろ き
	副委員長	大 倉 た か ひ ろ	委 員	せ お 麻 里
	委 員	西 村 直 子	委 員	こ し ば 新
	委 員	こ ん の 孝 子	委 員	塚 本 よ し ひ ろ
	委 員	松 永 よ し ひ ろ	委 員	山 本 や す ゆ き
	委 員	安 藤 た い 作	委 員	石 田 ち ひ ろ
	委 員	須 貝 行 宏		

その他の 出席議員	議 長	渡 辺 ゆ う い ち	副 議 長	あ く つ 広 王

事務局職員	大 澤 区 議 会 事 務 局 長	横 田 庶 務 係 長
	黒 肥 地 議 事 係 長	吉 田 調 査 係 長

○午後1時00分開会

○まつざわ委員長

ただいまより、議会運営委員会を開会いたします。

本日の予定は、お手元に配付してございます予定表のとおりでございます。

本日は、2名の傍聴申請がございますので、ご案内いたします。

1 特別委員会の調査事項等について

○まつざわ委員長

初めに、予定表1の特別委員会の調査事項等についてを議題に供します。

4月14日に引き続き、特別委員会の名称、調査事項、定数などについて議論し、決定していきたいと思っております。なお、前回の議論で、3つの特別委員会とすることを決定しております。

それではまず、名称、調査事項の議論に入りますが、本日の議論に当たり、各会派から出していただきました調査項目の希望および、4月14日の議運での議論を踏まえ、正副委員長で調整した調査事項（案）を資料No.1としてあらかじめ配付しております。こちらの資料を基に議論したいと思っておりますので、まず、内容を簡単に説明させていただきます。

まず、委員会の名称については、SDGs推進・行財政改革特別委員会、子ども若者支援・共生社会推進特別委員会、まちづくり・公共交通推進特別委員会としております。

次に、各委員会の調査事項につきまして、まず、SDGs推進・行財政改革特別委員会については、一つ、SDGsに関すること。一つ、公共施設・公有地等に関すること。一つ、行財政に関することの3つの項目としております。

次に、子ども若者支援・共生社会推進特別委員会についてです。こちらは、一つ、幼稚園・保育園に関すること。一つ、若者に関すること。一つ、重層的支援体制に関することの3項目としております。

最後に、まちづくり・公共交通推進特別委員会についてです。こちらは、一つ、新庁舎および大井町駅周辺地区に関すること。一つ、八潮・勝島のまちづくりに関すること。一つ、地域公共交通に関することの3つの項目としております。

各委員会の調査項目の備考は、記載のとおりです。

簡単ではございますが、正副委員長で調整した案についてご説明させていただきました。

それでは、特別委員会の名称、調査事項について、ご意見等がございましたらご発言願います。

○こんの委員

今ご説明いただきました件の中で確認をさせていただきたい点がございます。それは、備考のほうもよろしいですね。

○まつざわ委員長

はい。

○こんの委員

備考のほうに、「など」とついている部分があります。その「など」というところを何点か確認させていただきたいと思っております。

まず、SDGs推進・行財政改革特別委員会の中の、最初のボチです。SDGs未来都市計画の進捗とあります。このところの「など」という中の確認ですが、一つは、今申し上げたSDGs未来都市計画の進捗というところでは、SDGsは、もう事業としてはスタートしておりますけれども、改めてこ

ういった項目で上がってきましたので、行政の計画、政策、施策などとのSDGsの関係、あるいは将来像など、こうしたところの視点も含めての進捗という理解でよろしいのでしょうかというのが一つ。

それから、「など」という中にはこども会議という視点も、こうしたことも提案をさせていただきましたので、入っているのでしょうかといったところです。

それから、次の子ども若者支援・共生社会推進特別委員会の中の、2番の若者に関することの備考欄ですけれども、こちらの「など」という中ですが、ここはこども計画における若者施策が一つベースになるとしますので、その辺のところで、若者、青年世代、特に単身者の人口動向、こうしたことのベースも踏まえて調査をしていくといったことでしょうかということが一つ。

それから、若者に特化した組織体制の在り方も提案をさせていただいたかと思しますので、若者が抱える課題というのは、健康、生活、就労、住宅など、多岐にわたります。なので、こうしたことの窓口として、組織体制をしっかりと整えていくという課題もありますので、その辺のところも入れていくということをお願いしたいと思います。

それから3点目が、若者のニーズを把握するという手法の一つに、住民参加型デジタルプラットフォームがあると思しますので、その活用についても、「など」という中に確認をさせていただきたいと思します。

次の調査事項の3点目に、重層的支援体制に関すること。こちらに書かれている項目のベースとなるのが地域福祉計画だと思います。その中に、特に若者のほうには孤独・孤立と書いてあるのですが、重層的支援は若者だけではなく、若者から高齢者までなので、そこにも孤独・孤立、特に重層的支援となると、高齢者の視点が多いかと思しますので、高齢者の孤独・孤立といったところも入ってくるのかなと思っております。

次のまちづくり・公共交通推進特別委員会の中の1番目、新庁舎および大井町駅周辺地区に関することのうちの「など」の中ですけれども、この「など」の中に、いわゆる広町の開発について、大井町駅周辺の広町地区開発として、OIMACHI TRACKSの観点も入ってくるのかなと思っております。

それから、帰宅困難者対策と書かれておりますけれども、その帰宅困難者対策の中には、災害時の医療体制という課題も提案させていただいていたかなと思しますので、その点です。

最後の調査項目の地域公共交通に関することです。ここに書かれていることの前提論として、品川区の公共交通の展望というか、どのように考えていらっしゃるのかといったところも提案させていただきましたので、「など」と今申し上げたところ、このようにお願いをしたいと思っているところでございます。

○まつざわ委員長

では、今、質問がありました、「など」の在り方についてですが、全て共通してまとめて言わせていただきますと、いろいろ書き切れない部分が正直ありました。それで、そもそもこの特別委員会は、いろいろディスカッションして、新しいものにしていこうと言った、自民党案がありました。この特別委員会でしっかりと、今課題になっているものを取り上げて、それをしっかりと区長に提言していきたいというのが、今回特別委員会を新しく変えていこうという趣旨の一つだと私は考えております。

その中で、今、こんの委員がおっしゃった「など」の中、例えば、計画、施策の理解、こども会議、それは前回の14日の議運の中でもお話があったとおりでございまして、今このように議事録に残してもらうことが、これから先、正副委員長が決まったときの正副委員長の参考になると思っておりますので、

ぜひこういった意見は、今回言っていただけるとありがたいと思います。それで、「など」にはそういった部分も、私は含んでいるという認識であります。

○山本委員

正副委員長でまとめていただきまして、ありがとうございます。こんの委員からもありました「など」のところの確認、要望なども含めまして、私たちしながわ未来からの感想、意見を申し上げます。

1つ目は、SDG s 推進・行財政改革特別委員会ということで、SDG s 推進と行財政改革を調査項目としたことで、当会派の要望どおり進めていただき、ありがとうございました。SDG s 推進は、当会派から2年越しで要望させていただきました事項でもあり、特に、所管で行われていて全体像が見えにくいSDG s 推進に当たっての全体計画の進捗をはじめ、当会派から要望する共創推進プラットフォームやSDG s 推進ファンドといった個別施策を入れていただき、ありがとうございました。

公共施設・公有地に関することは、総合計画において、昨今の建設費高騰等を踏まえて、現在の区の全体計画について調査させていただきたいと考えております。本計画に関しては、財政的な視点でも考える必要がありますので、財務長期計画シミュレーションや今後の資金調達手法についても、可能な限り、併せて調整はさせていただきたいと考えております。

また、総合計画の中では、老朽化施設の効率的・効果的な更新といった観点での調査をお願いしたいと考えておりまして、具体的には民間活力の検討や、公園に対するP a r k－P F Iの推進なども、可能であれば検討させていただきたいと考えております。

個別の公有地についてですが、備考欄でご記載の旧第一日野、アイルしながわに加えまして、旧荏原第四中学校跡地の活用は、区で初めての複合型施設で、様々な所管をまたぐ施設となるということ、初めてP F I手法を取り入れるということであり、昨年度に続き、今年度も事業内容の精査や事業選定に向けての準備を進めることから、併せて調査していけますよう、ご検討をお願いしたいということでございます。

行財政に関することについては、当会派から要望していた行政評価、ふるさと納税に加えて、D Xも加えていただきまして、ありがとうございました。D Xはやはり行政内での重要な横軸ということで、1年前倒しで策定・更新が進んでいるD X推進基本方針と、その中でのサービスD X、地域D X、シゴトD Xの各施策が調査内容として入ってくるものと考えております。そのような事項を特別委員会で取り上げていただき、有意義な調査となることを期待しております。

2つ目の子ども若者支援・共生社会推進特別委員会ですけれども、近年さらなる取組がふさわしい若者支援、重層的支援体制について、また、幼稚園・保育園に関しては、今後の在り方等の検討などを調査項目として進めるということで理解をしております。文教委員会や厚生委員会との議論のすみ分けをうまく進めていただきながら、有意義な調査が進むよう期待しております。

3つ目のまちづくり・公共交通推進特別委員会では、当会派から要望した新庁舎、現庁舎跡地活用、帰宅困難者対策を加えていただき、ありがとうございました。大井町駅周辺の社会実験や、J R東日本が開発するO I M A C H I T R A C K S等を含んだエリア一体での議論を進めるということで、よい調査事項のくくりであると考えております。災害対策では、帰宅困難者対策だけではなく、災害医療体制や受援計画の整備など、そのほか、避難所整備、防災協定など、エリア全体での防災対策を含めて調査することを望みます。

八潮・勝島の水辺の利活用や、様々な手法における検討が進む地域公共交通を含めて、有効な調査となることを期待しております。

○まつざわ委員長

ありがとうございます。ぜひ参考にさせていただきます。

ほかに。

○せお委員

3つの会派からでしょうか、要望があった上で、先日の議運で議論したことも加えて、このようにきれいにまとめてくださり、正副委員長には感謝申し上げたいと思います。加えて、備考のところで、今、公明や未来からもお話があったと思うのですが、ここは先ほど委員長がおっしゃった、特別委員会の正副委員長などを含めた考え方もそうですし、あとは執行機関側の何か緊急的な動きみたいなものもあると思います。そのときそのときで、何か加えなければいけないものもあるかもしれませんので、柔軟に対応していただけたらと考えております。

あと、確認なのですが、そもそも今回、特別委員会を少し変えていこうというところで、目的があったと思うのですが、私たち会派から出しました、最後にまとめとして、一定の成果を出すというか、区長に提言をできればというところがあったと思うのですが、そういった目的が加わっているという理解でよろしいでしょうか。

○まつざわ委員長

4月14日の議会運営委員会でいろいろな話が出たときに、特別委員会の在り方というのをもう一度いろいろ検討しようというお話の中で、自民党案が出て、公明党、また未来からいろいろなお話があった中で、ただいつもどおり常任委員会のものを切り分けたものをただやるのではなく、しっかりと委員間で討議して議論をして、そして最終的には区長にしっかりと提言していくという特別委員会であっていきたいと思っております。

○安藤委員

今までも特別委員会というのは、まとめという形で出していたと思うので、私は変わらないのではないかなと思うのですが、大事なのは、今回3つの特別委員会を出されていますけれども、委員会の中で、しっかりと委員間で討議をして、きちんと合意ができることについては、議会として委員会として提案するけれども、民主的な議論というのはすごく大事だと思っていて、そこで、今までの特別委員会のように、きちんとまとまったところを提案していくというのが私は大事だと思いますので、万が一でもまとめることが大事だ、議会として出すことが大事だということで、そうした委員間の議論がおろそかになってはいけないと私は思っておりますので、意見だけ述べさせていただきます。

○まつざわ委員長

ほかにございますか。

○あくつ副議長

今の安藤委員のお話なのですが、矛盾していると思うのです。議論は尽くす。だけれども、合意したところだけを提言するというのではなくて、まとめをしっかりと議論して、それを区側に実現を迫っていくというのが今回の自民党の提言であって、今までとは異なるとおっしゃっているわけですから、そもそも今のお話だと、さもまとまらないようなことをおっしゃっていますけれども、まとめていく努力を各委員がしなければいけない。いろいろな会派の考え方もあるのですが、

新庁舎に関してもそうでした。まとめる努力をして、そうしないと、区長側もそんなものは受け取れませんから、それはしっかりとまとめていくという姿勢でやっていくということは、しっかりと守っていただきたいと思います。そうしないと議論が始まらないので、そもそも自分たちの考え、主張を貫き通し

て、私は反対します、これについては提言しませんということを、今ここで決めるわけにはいかないので、私は、はっきりそれはここで確認しておきたいと思います。

○安藤委員

すみません。大事なところなので、もう一回だけ発言させていただきますけれども、委員会としての提言、議会としての提言ということですので、そこはまとめる努力というのは必要だと思いますし、議論するということは大事だと思いますけれども、議員というのは、党派というのは、各支持者あるいは各層から支持されて、それぞれ立場がそもそも違うわけです。でも、立場が違うのですけれども、議会という場で、委員会という場で真摯に議論を尽くして、結果、こうして委員会としてまとまった、そして提言していくというのは、議会としての機能としてあるべきことだと思いますので、そういったところを申し上げておきたいと思います。

よく議論することが大事、そして、その結果まとまったものについては、提案していくと。そのまとめる努力とか議論する努力というのは、共産党としてもやっていくということは考えているということだけ述べさせていただきたいと思います。

○あくつ副議長

おっしゃっていることはそのとおりだと思いますし、まとめるための努力をしていくというご発言がありましたので、そこはきちんと議事録に残していただいて、今までのように、こんな意見もあって、こういう反対意見もあったみたいなのを区長に出したときに、それは提言ではないので、そこについては、議決機関としての委員会としての結論を、しっかり区長に実現を迫っていく、意見を収めんしていく、そのことの努力はしっかりしていただきたいと思います。

○須貝委員

特別委員会の調査事項、要望はかなりたくさん出たのだと思うのです。ですけれども、確認なのですが、あくまでその特別委員会の委員長、副委員長、それで委員と、これから調査事項についてはそこで決めて、そしてそこで議論していくという形で、皆さんのいろいろな要望はありましたけれども、それは聞くにしても、その特別委員会の中で決めていくというスタンスでいいのですよね。

○まつざわ委員長

はい。

ほかによろしいでしょうか。

委員間でいろいろ発言して意見を出し合う、それを一つの方向性として持っていこうということが大事なので、ぜひそういった委員会になっていただきたいと思っております。

ほかには発言がないようですので、修正がないということで、委員会の名称、また調査事項につきましては、資料No.1の正副案のとおり決定することによろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○まつざわ委員長

ありがとうございます。それでは、さよう決定いたします。

次に、そのほかの項目を決めていきたいと思います。

まず、委員会の並び順につきましては、このとおり、一つがSDGs推進・行財政改革特別委員会、次に子ども若者支援・共生社会推進特別委員会、その次にまちづくり・公共交通推進特別委員会の順番でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○まつざわ委員長

それでは、そのように決定いたします。

なお、略称というものがありまして、行革、災害環境みたいな略称をこれから設けなければいけないので、この略称につきましては、1つ目につきましては、SDGs行革、そして2つ目につきましては、子ども若者共生、それと、3つ目につきましては、まちづくり交通という略称にしていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○まつざわ委員長

ありがとうございます。それでは、そのように決定いたします。

次に、定数についてです。4月14日の議運での議論を踏まえまして、正副としては、現在の委員会数が2つ、13人ずつで、合計26人です。委員会を3つにして、この26を割ることがないように、それで、13人が少し多いのではないかという意見、13人でもいいという意見がありながら、13人が多いという意見が多い中、26を減らさないように、3つの委員会それぞれ9人、そうすると全部で27人になると思います。

そう考えると、正副としては、一つの特別委員会には9人という考え方になりましたが、これに対するご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

○安藤委員

まず、この27人の中に無所属議員の方が入るのかということと、これは委員会なわけですから、大事な発言の機会なわけですが、今までもそうだったのでしょけれども、議員によって所属する委員会の数が違うという不公平についてはどのように考えているのか。そういう不公平というのはまずいのではないか、全ての議員が公平に特別委員会と常任委員会に所属するというのが議会の本来の在り方だと私は思うのですけれども、いかがでしょうか。

○まつざわ委員長

今までも特別委員会は会派に所属している方たちが入っていくという流れの中でやってきたものであって、安藤委員がおっしゃるように、不公平という感覚は、私にはございません。

○安藤委員

あくまで会派でやるということは、会派に入っていない人は入ることができないという提案ということでしょうか。そういうことになると思うのですけれども、私は今回、数を増やしても、13人でいいではないですかと思うのですが、前回、13人だと多過ぎるという議論がありましたけれども、実際、1時から始まります特別委員会で、5時までやったことは1回もないと思います。13人で深まらないというのであれば、深める努力をしたのですかと私は言いたい。ですから、13人で、今回を機に、全議員が公平に有権者から選ばれた議員なわけです。選ばれたのにもかかわらず、議会での発言の機会が不当に差があるというのは絶対おかしい。

そして、私たちは無所属の多くの方に聞いてみましたけれども、多くの方は、これは改善してほしいと言っているわけです。それをなぜ改善しないのですか。無所属議員からの意見というのは届いていないのでしょうか。私のところには届いていますし、私は聞きました。なぜ改善しないのでしょうか。これは絶対改善すべきだと思います。ほかの会派の皆さんの意見を聴かせていただきたいと思います。委員長のそういった態度に皆さんは賛同するのですか。公然と無所属の議員を差別するのでしょうか。私は聞きたい。

○まつざわ委員長

今までの在り方が、不当に差があるという発言がございましたけれども、そうしますと、先代から続けている品川区議会が、ずっと不当でやってきたと私は捉えてしまいますので、先代も含めて現在も、そんな委員会運営をしてきたつもりはございません。

その中で、無所属の方からのご意見を私も実際聞いています。やりたいという方もいらっしゃる、それは迷惑だからやらないでほしいという方も実際にいらっしゃいました。特別委員会に、無所属一丸となって入れてくださいというお話は、私にはありませんでした。

○須貝委員

今、安藤委員からそういう提案が出ましたけれども、それはそれで、私は悪いとは思わないのですが、ただ、そういうことならば、無所属の方も特別委員会に含めたらどうだという、長い間の慣例はそのようにはなっていないのですが、だったら別の場できちんと話し合って、議運でまた皆さんで決めて直していかない限り、ここで今云々ということ、こうしますというわけにはなかなかいかないのかなと思うので、きちんと今後どうするのかということ、せっかく提案していただいたので、検討する場をつくられたらいいかなと思います。

○まつざわ委員長

ほかに。

○せお委員

私は9人でよろしいかと思います。先ほど、共産党も、議論をしっかりして、まとめて、しっかりまとまったことを提言していくというお話があったと思うので、議論をしっかりしていく、一定の成果というか、一定の提言というのをまとめるに当たっては、13人では多いと感じておりますので、そこは私たち会派も9人が妥当なのではないかと考えております。

○まつざわ委員長

ほかに。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○まつざわ委員長

ありがとうございます。ただいま共産党からの意見、また自民党からの意見、そしてまた品改からの意見がありました。私からは、今までの歴史というか、慣例、慣習を見ながらも、不当に差があるという認識ではございませんということを申し上げました。

その中で、ほかに反対することがないということであれば、3つの委員会にそれぞれ9名ということで、正副案のとおり、それぞれ9名ということで決定していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○安藤委員

須貝委員より、別の場をつくって討議したらどうかという提案だと私は受け止めたのですが、その提案に対するリアクションがないというか、どのようにお考えなのでしょう。

須貝委員がそうにご意見をおっしゃいましたけれども、まさに議運がそういうことを決める、議論する場だと思うので、ここで議論していいと思うのですが、ただ、これとは別に、また違う機会を設けたほうがいいのではないのでしょうかというご意見をおっしゃっていたので、それについての委員長としての意見はないのです。

○まつざわ委員長

須貝委員のほうは、一つの意見としてしっかりと受け止めさせていただきまして、今回この議運に関

しては時間がないということで、特別委員会がこれから走り出すといったときに、いろいろな課題が出てくると思うのです。それもやはり議会運営委員会の中で、そういった課題を見ながら、この1年かけて、また新しい、いい委員会にしていく、まさに議会、議員同士がしっかりと発言してやっていく、そういった1年にしていければいいかなと思っています。

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○まつざわ委員長

ほかにないようでしたら、正副案のとおり、9名ということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○まつざわ委員長

では、そのように決定いたします。

最後に、3特別委員会の正副委員長の数ですが、委員長1名、副委員長1名ということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○まつざわ委員長

ありがとうございます。それでは、そのように決定いたします。

以上で本件を終了いたします。

2 その他

(1) 議長会等の報告について

○まつざわ委員長

次に、予定表2のその他を議題に供します。

初めに、(1)議長会等の報告についてを議長からお願いいたします。

○渡辺議長

何点かあります。

まず、おととい、ハラスメントに対する研修会について、多くの方のご参加をいただき、ありがとうございました。当日の質疑の盛り上がり、内容、そして、一部メディアの取扱いもありまして、テレビ放映、あるいは本日の東京新聞、大変好意的な記事と受け止めております。本当に品川区議会が一歩二歩進められている感じが、うまく区民の方に伝わればいいなという思いでおります。まずはご参加あるいは運営協力、ありがとうございました。

もう1点、議長会関係で、ちょうど今週の月曜、火曜、4月21日、22日と視察に行つてまいりまして、能登半島輪島市の被災地視察をしてまいりました。これは清掃のほうの議会ということになるのですが、私もあれから1年以上たって、議員の皆さんも現地に行った方は聞き及んでいますが、行つてみないと分からないことが多数というのが議長会の感想でした。そして、まだまだ瓦礫が積み上がつていたり、非常に復興というものの難しさを現実問題として受け止めました。

その中で、清掃一部事務組合として、各清掃工場が瓦礫等を昨年の秋から引き受けていると。ここで言うと、ちょうど現地から貨物で大井コンテナ埠頭のほうに一度運ばれて、その後、各清掃工場に行っているということでありました。それを受けての視察だったのですが、訪問した石川県議会の議長はじめ、懇談の機会がある中で、2点、ぜひ皆様にお伝えしてほしいということが、清掃工場等の瓦礫の受

入れに心から感謝していますと。というのは、石川県なり近隣県では、とても収まる量ではないと。東京のような大規模に処理できる自治体あるいは清掃工場のありがたみが非常に分かりましたというコメントが強くありました。

それともう1点は、23区で視察に行っていますから、職員派遣。発災直後から、半年スパン、1年スパンのところもありますが、各区、全ての区で職員が派遣されていることに対して、お礼をいただきました。職員の方々も、ご自身が被災者であること、家庭のことやいろいろなことがおぼつかない中、職員派遣というものは大変にありがたいというのが、大変気持ちの籠もった表現でありましたので、私も議会の人間としても、改めてしっかり皆様に情報を共有したいというところがありました。

また、地域の方もそうだったのですが、金沢市に宿泊をしたのですが、風評被害も含めて、被災地が怖いとか、あるいは本来の観光というところの規模が縮小してしまっていると。実は地域経済のためにも、自治体の観光だけではなく、ぜひ足を運んでいただきたいと。観光もそうですし、行政視察、議会視察を大歓迎していますと。これは県議会も金沢市議会も言っていました。必要以上にイメージの面で足が遠のいてしまっていて、地域経済としては打撃であると。現地も風化しないように、最近メディアの取り上げ方も減っているので、ぜひ現場を見てほしいということがありましたので、これは各議員の立場、会派の立場で検討いただけたらありがたいというのを申し受けていますので、お伝えさせていただきます。

3点目です。今、局長に示していただいている議会発行の議員名簿、毎年この後、委員会等が固まった段階で発行しているのですが、今回これを、手帳ベースは見送ろうと。もう電子化の時代の中で、あるいはペーパーレスの中で、今、委員会資料等もかなりタブレット等で置き換えられていると思います。

そして、委員会構成ですとか理事者の問合せ先等も、十分電話帳等で、電子化でカバーできるのではないかという考えに至りましたので、もしこの場で異論がなければ、議長決定として、今年度から紙ベースのものの発行を見送りたいと思いますが、後ほど意見を下さい。委員長のほうで諮っていただければと思います。

最後です。少し長くなりましたが、早稲田大学マニフェスト研究所、今回名称が変わったのですが、早稲田大学デモクラシー創造研究所、議会改革度調査というのが毎年マスコミ等でも注目をされています。前年度において、実は品川区のランキングが過去最高位を獲得できたことをご報告いたします。

今回、回答した全体数926自治体中、全国で26位という順位が発表されました。前年度も過去最高だったそうなのですが、119位から、初の2桁台の総合順位で26位で、特別区においては、23区中2位に躍進できたと。1位は墨田区なのですが、公表対象は300位までで、300位以降は圏外という扱いになるのですが、23区は1位が墨田区、2位が品川区、3位が足立区、4位が板橋区と、23区の順番で言うと、そこまでがベスト4、それ以外は圏外になるということだそうです。

改めて言いますと、都内順位が2位で、関東の中でも7位ということで、非常に議会改革が進んだと。これは今、それぞれ議会改革、交流会議、広報会議、あるいはICTと、全体での取組が、かなり調査が多岐にわたる中で、堂々たる成績だと思いますので、まだ速報値なので、これからいろいろな情報発信は検討していきたいと思いますが、品川区議会全体として誇るべき議会改革度調査の結果だと思いますので、ご報告させていただきます。

○まつざわ委員長

説明が終わりました。本件についてご質疑等があればご発言願います。

○渡辺議長

手帳のことも聞いていただいていた方がいいですか。

○まつざわ委員長

特に名簿（小冊子）のペーパーレス化についてご意見ありますか。

○塚本委員

少し確認です。ペーパーレスは全然いいかと思うのですが、基本的には今あるものが、そのままペーパーレスですか。多少、中身は省くようなものが出たりはするのでしょうか。

○大澤区議会事務局長

この形のままアップするというのではなくて、ここに載っている必要な情報については、何らかの形で皆さんに、紙ではなくてお手元に行くようにいたします。

○まつざわ委員長

ほかに。よろしいですか。

ないようですので、特にこの小冊子については、議長案のとおりに廃止ということで進めてまいります。

以上で本件を終了いたします。

(2) その他

○まつざわ委員長

次に、(2)その他を議題に供します。局長より説明願います。

○大澤区議会事務局長

予定表をご覧ください。

①の発電機設備の改修工事が5月から8月まで予定されております。第一駐車場の1、2階、本庁舎の地下で工事が行われる際に、作業音と振動が発生するとのことです。また、第一駐車場の2階、第三庁舎の裏側の駐車スペース4台が使用できなくなり、通行範囲も狭くなります。作業車が駐車されることもございますが、喫煙所の使用は可能ということです。

②ファンコイルユニットの点検が5月17日土曜日、午前9時半から午後4時まで予定されております。作業員の控室の立入りがございます。空調機周辺の荷物をご移動いただくようお願いいたします。

③5月14日水曜日、午前9時から正午まで、点検のため議会棟のエレベーターが使用できなくなりますので、ご留意ください。

○まつざわ委員長

説明が終わりました。本件について、何かご質疑等はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○まつざわ委員長

ほかに、その他で何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○まつざわ委員長

ないようですので、以上でその他を終了いたします。

以上で本日の予定は全て終了いたしました。

次の開催は、5月15日木曜日、午後1時からを予定しております。

これをもって、本日の議会運営委員会を閉会いたします。

○午後 1 時 4 2 分閉会